

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：産業教育・キャリア教育担当

内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B20	世界をリードする科学技術人材育成事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成	SDGsゴール	1
	分野施策					030620	確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット	1-1, 1-3, 1-4	
1 事業概要 世界で活躍する科学技術人材を育成するため、科学・技術・工学・数学等の様々な分野を横断した研究を行い、課題解決能力を育成するとともに、STEM教育の充実を図る。 (1) 世界をリードする科学技術人材育成事業 △1,520千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 世界をリードする科学技術人材育成事業 7,178千円 STEMモデル研究校において、以下の取組を実施する。 (ア) 大学・研究機関等と連携し研究活動等における指導助言を受け、国際学生科学技術フェア等世界大会入賞を目指す。 (イ) 国内の研究者による講演会や最先端研究施設施設の視察を通じて、多角的視点の育成を図り、融合的な研究の基礎を育成する。 (2) 事業計画 STEMモデル研究校ごとに、プロジェクトチームを構成し、大学や研究機関と連携した探究的課題研究を通じて、豊かな創造力と実行力を兼ね備えた世界で活躍する科学技術人材の育成を行う。 高校生の段階から本格的に研究活動に打ち込む機会を与え、国際学生科学技術フェア等世界大会入賞を目指す。 (3) 事業効果 科学・技術・工学・数学を重視し、分野の横断教育型の探究的課題研究を行っていくことで、日本の未来を担う人材の発掘や理数分野に特化した人材の発掘及び育成を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 大学・研究所などの研究機関・研究者と連携し、探求的課題研究の充実を図る。 (5) その他【前年度からの変更点】 成果発表会の会場使用料等の見直しによる減 (6) 補正予算の概要 ア 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人＝3,800千円										

予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,520							△1,520	5,658
現計額	7,178							7,178	